

★第5回南九州市市民体育大会 開催 ～総合優勝は別府チーム～

10月13日、川辺諏訪運動公園陸上競技場で、「スポーツで心身の健康増進と市民の一体化をはかろう!」のスローガンのもと、第5回市民体育大会が開催されました。当日は晴天で、盛大に行うことができました。

優勝は、別府チーム。霜出チームと同得点でしたが、各種目で1位獲得数が上回った別府チームが制しました。



【総合】

優勝：別府
準優勝：霜出
3位：宮脇

【クラス別】

○Aクラス
優勝：別府
2位：宮脇
3位：勝目

○Bクラス
優勝：浮辺
2位：知覧
3位：川辺

○Cクラス
優勝：霜出
2位：高田
3位：松ヶ浦

▼中学生は講座の後、市内の保育園や幼稚園で幼児と実際にふれあう保育交流も行いました。



★10月8日はお茶むらいの誕生日 ～知覧幼稚園・知覧小学校でお祝い～

10月8日、市政施行5周年に登場したお茶むらいが初めての誕生日を迎え、知覧幼稚園児と知覧小学校児童がお祝いました。園児らからお茶むらいへお祝いのあいさつがあったり、テーマソングに合わせてダンスを踊ったり、楽しい誕生会になりました。お茶むらいの誕生日は、茶という字を分解すると108になることに由来しており、108歳は茶寿とも言われています。これからもお茶むらいの活躍を期待します。



▲お茶むらいは園児らからもらったメッセージカードを首に下げ、みんなでダンスを踊りました。

★次世代を育む親となるために ～子育て講座&保育交流～

9月24日～10月4日、知覧中学校2年生と薩南工業高校生活科学科2・3年生が「子育て講座」を受講しました。この講座は、将来親となる中高生が、子どもとの関わり方や育児について地域の人から学び、子育ての喜びや楽しさを知ることを目的とするものです。中学生は「もっと遊んでいたかった」「そばに寄ってきてくれた」と子どもとのふれあいに自信を持った様子でした。

第20回小京都ふるさと祭 開催 ～快晴のもと、会場はお客さんでいっぱい～

10月27日、第20回小京都ふるさと祭が知覧平和公園自由広場で開催されました。心配されていた台風も過ぎ去り雲一つない快晴のもと、神野美伽歌謡ショーや加納ひろし・星桂三歌謡ショー、〇組（わぐみ）舞踊ショーや薩摩剣士隼人ヒーローショーなどで舞台は盛り上がり、また、会場内のふるさと自慢市にも多くのお客さんが集まりにぎわいました。



▲神野美伽歌謡ショー。迫力ある歌声で観客を魅了しました。



▲加納ひろし・星桂三（写真右）歌謡ショー

▼中山田太鼓踊りは、島津義弘の朝鮮出兵に従軍した山田の武士の「凱旋」の様子を表現した踊りです。



▲オープニングの「武者行列」。雨が降ると甲冑が濡れるため披露できないそうです。今年は堂々と会場内を練り歩きました。



▲舞台前は多くのお客さんににぎわいました。

アグリランドの草原をポニーが疾走 ～第12回アグリランドえいポニーレース～

10月20日、夢・風の里アグリランドえいで第12回アグリランドえいポニーレースが開催され、市内外より30頭のポニーが集合し草原を駆け巡りました。途中で引き返したり落馬したりなど、最後まで分からないレース展開に会場は大いに盛り上がりました。他にもしゃんしゃん馬の披露やチャレンジレース、広場ではステージショーや出店の販売などが行われ、多くの来場客でにぎわいました。



▲ポニーと一緒に懸命にゴールを目指す（左から）小峯文男さんと堀脇駿作さん。

中山田太鼓踊り 奉納 ～竹屋神社の豊祭～

10月19日、川辺町中山田の竹屋神社の豊祭に、市指定無形民俗文化財の指定されている中山田太鼓踊りが奉納されました。4つの太鼓踊りが輪番で奉納するため、5年ぶりの奉納となりました。8月下旬からほぼ毎晩練習を重ねて当日を迎え、神社前の参道で向かい合って踊る「道楽（ミッキ）」、境内で輪になっての「本踊り」を披露しました。神社での奉納後、勝目地区の24か所をまわり、踊りを披露しました。

★手話をとおして知覧中学生と交流 ～手話教室受講生が初めて指導～

社会福祉協議会開設の手話教室受講生3人（松田やよいさん、下之門智美さん、角 ゆきえさん）が、知覧中学校の生徒に手話を指導しました。これは3年生が文化祭（11月1日）で「世界に一つだけの花」の手話歌を取り入れたいと決めたもので、指導した3人は「教えるということは初めての経験。最初は不安でしたが、生徒の意欲が感じられ、すごく熱心に学んでくれて嬉しかったです」と話してくれました。



▲生徒の横井里帆さんは、「教え方が上手で楽しかった。これからは日常で使える手話を学んでいきたいです」と体験した感想を話してくれました。

▼川辺学習館幼年消防クラブによる演技。



★幼いうちからの防火・防災意識を！ ～幼年消防フェスタ開催～

10月22日、颯娃運動公園内で指宿南九州消防組合管轄内全ての7つの幼年消防クラブが集まり、幼年消防フェスタが開催されました。各クラブによるマーチングやお遊戯、組み体操などの披露があり、その後はしご車からの飴まきが行われました。幼いうちからの防火・防災の意識を高める意味で非常に有意義なイベントでした。

▼表彰を受ける福留さん。



★環境衛生改善功労者として表彰 ～福留 順一さん（颯娃町別府）～

鹿児島県衛生自治団体連合会総会が開催され、本年度の環境衛生改善功労者として福留順一さんが表彰されました。福留さんは、颯娃地区衛生自治団体連合会の役員を長年にわたり務め、積極的に事業を推進されるなど衛生自治団体の活動に尽力されました。今回の表彰は、その功績が認められたものです。

★産業用無人ヘリコプター全国大会へ ～南九州市農業公社が健闘 6位入賞～

11月1日、茨城県で開催された第22回全国産業用無人ヘリコプター飛行技術競技大会へ、市農業公社が県代表として出場しました。出場された選手は「全国レベルの飛行技術を体験でき、農業情勢などについても知見を深めることができました。今回の経験を生かし、基幹産業である農業の振興に貢献できるよう、また農家の負託に応えていけるよう取り組んでいきます」と話されました。



▲この大会は、産業用無人ヘリコプターによる病害虫防除の効率的な作業や安全な飛行技術の向上を図る目的で開催されています。

第44回ジュニアオリンピックに出場!!

～額娃中・青戸中陸上部～

10月25～27日にかけて神奈川県で開催された第44回ジュニアオリンピックに、額娃中から、濱田哲平さん（男子円盤投）、松崎菜桜さん（女子円盤投）、下窪瑞生さん（女子ジャベリックスロー）、青戸中から淵田杏奈さん（女子100mハードル）の計4人が出場しました。8位入賞を果たした淵田杏奈さんは、「準決勝では初めての14秒台で自己ベストだったが、決勝は悔いが残った。来年は1つでも上を目指して頑張ります。」と話しました。



▲全国という大きな舞台で奮闘しました（左から）淵田さん、濱田さん、松崎さん、下窪さんの4選手。

百歳おめでとうございます

～折尾オミ子さん（額娃町上別府）～

折尾オミ子さんが、10月1日に100歳を迎えられました。当日は、霜出市長が特別養護老人ホーム・ピハールを訪問し、ご家族、入所者の方々、施設職員の皆さんとともに長寿をお祝いしました。折尾さんは100歳の誕生日を大変楽しみにされていたとのこと。今でも毎日鏡の前で身だしなみに気を配るなど大変お元気です。この日は集まった皆さんに優しいお顔でお礼を述べられていました。



▲市長が施設を訪問し、お祝い会と花束を贈り、ご家族の方などと長寿を祝いました。

▼「地元の方々のお役にたてれば」と、約25人が5班に別れ、高齢者住宅約50戸を点検しました。



高齢者住宅の電気設備無料点検

～加世田電気工事工業組合青年部～

9月7日、加世田電気工事工業組合青年部の方々が、高齢者住宅の『電気設備無料点検』ボランティア活動を行いました。管轄エリア内に住む高齢者で希望される方々を対象に毎年実施しているもので、本年度は知覧地域で行われました。電気設備の漏電チェックや照明器具の電球交換などを行い、高齢者の方は心配な箇所を見てもらい安心した様子が見られました。

▼助ましのことばでは、霜出市長をはじめ南薩地域振興局玉利農政普及課長や関係機関から激励と期待の言葉が送られました。



農業開発研修センター修了式

～短期研修生 大隣直人さん（知覧町）～

9月30日、市農業開発研修センター修了式が開催され、短期研修生の大隣直人さん（知覧町）が修了されました。大隣さんは、葉たばこ・きつまいも・だいこんなどを栽培予定であり、「1年間の研修は、あっという間に過ぎたように感じました。今後は、研修で学んだことを活かして行きたいと思います」との思いでした。

研修センターでは、各種研修生の募集をしております。